

本日から、「『人生100年時代』に向けたキャリア開発」というテーマで連載させていただきます。筆者は一般社団法人日本産業力カウンセラー協会中部支部（愛知・岐阜・三重・静岡・福井・石川・富山）の会員で、国家資格キ

ナビゲーター

キャリアコンサルタント有資格者です。

「令和」の時代を迎えてはや2カ月になります。読者の皆さまは、昭和・平成の時代を経て、この新しい時代にどのような夢や希望をお持ちでしょうか？そしてそれを実

◆ 1 ◆

人生100年時代に向けたキャリア開発 その考え方と方法

現するためにどのような計画や仕掛けを用意されていますか？

そのような計画を作成する時にまず必要なのは社会の変化の把握ですが、企業や人々の生活に最も大きな影響を与えているのは何と云っても「少子高齢社会」です。昨年度1年間に生まれた子どもが100万人を切りました。そして今生まれる赤ちゃんの半数は100歳まで生きると言われています。「人生100年時代」と言われる今日、わ

“キャリアがいま、なぜ重要なのか”

連載にあたって

れわれも含め定年退職した後40年近くも人生が続くのですから、今から頭を切り替えなければいけないと思えます。

従来のように、家庭で育ち、学校で学び、就職して働き、結婚して家族を持ち、あとは豊かな老後というライフ・ストーリーが描けない時代です。経済的・社会的観点からも「元気なうちは働く」という「生涯現役社会」が目の前に来ています。その実現には、今後目覚ましく発展するAI



すぎもと・かずお 1947年生まれ。名古屋市立大学大学院経済学研究所博士後期課程単位取得退学。民間企業でキャリア教育・開発などに携わる。現在、椋山女学院大学非常勤講師（キャリア教育担当）。

など新しい知識や技能の習得、情報収集等が必要ですが、キーポイントになるのが「キャリア」です。一人ひとりにとって、「うまく出来ること、楽しいこと、自己成長が感じられること、企業や社会に貢献できるもの」があれば、それが「キャリア」です。今回はなぜキャリアが重要なのかというテーマですが、その答えは、「従来のように会社が手取り足取り個々の従業員の能力開発や働き方のサポートをしない。それらは従業員個人が主体的に取り組むべきで、自立・自律した個が求められる時代になった」からです。企業はそのような個に対して支援をするという方

向に変化しました。

個々人の職業生活を理想とする方向にもっていくことを、組織的な視点で「キャリア形成」、個人的な視点で「キャリア開発」と言います。また目的達成のための専門家との面談がキャリアアカウンセリング、情報提供も含めた総合的支援がキャリアコンサルタントイングです。そうした分野で活躍している人の掲載もありますので、ぜひ最後までお付き合いください。

【日本産業力カウンセラー協会 会員・キャリアコンサルタント・社会保険労務士 杉本 和夫】

(火曜日に掲載)

